

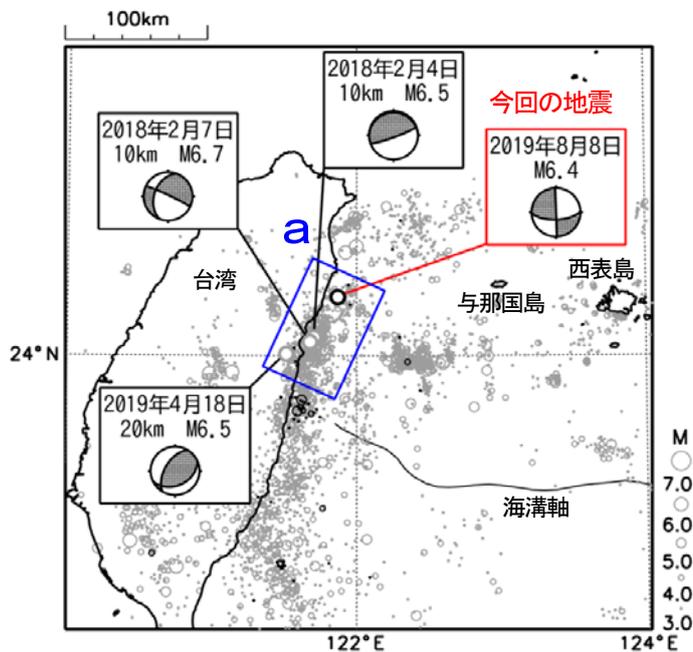
8月8日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日～2019年8月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 3.0$)

2019年8月以降の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

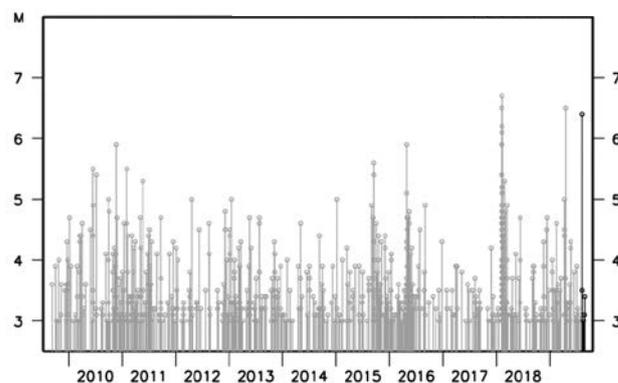


2019年8月8日06時28分に台湾付近でM6.4の地震（日本国内で最大震度2）が発生した。

この地震の発震機構（CMT解）は、北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、最近では2019年4月18日の地震（M6.5）により日本国内で最大震度2を観測している。

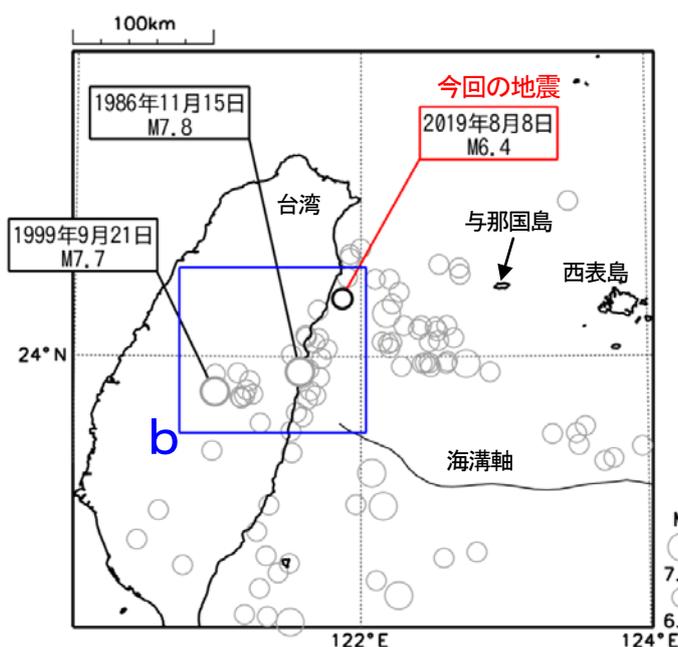
領域a内のM-T図



震央分布図

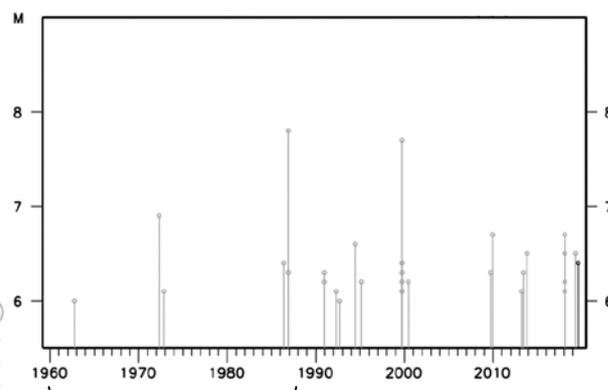
(1960年1月1日～2019年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2019年8月以降の地震を濃く表示



1960年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で最大震度3）が発生、宮古島平良で30cmの津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人の被害が生じた。また、1999年9月21日にM7.7の集集地震（日本国内で最大震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人の被害が生じた（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。

領域b内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)

※本資料中、2009年8月までの震源要素は米国地質調査所（USGS）による。2009年9月以降の震源要素は気象庁による。